

第101回二科展 巡回展（大阪展）



▲ 大阪市立美術館

■ 二科巡回大阪展は10月25日~11月6日まで、大阪天王寺公園内の大阪市立美術館で開催しました。天に伸びるアベノハルカスト、てんしばと称される緑の大地のコントラスト。新しい大阪の憩いの場として進化していく環境の中での開催です。

出品数は絵画204点、彫刻15点、デザイン216点、写真228点の総数663点の展示。

■ 今回絵画部では、会員、会友推挙者を含む7名の受賞者をこの関西支部から輩出することができました。このことは、大阪展の開催にあたっての、我々の大きな喜びとなりました。新しい受賞者が、新鮮な活気とパワーを支部全体にもたらしてくれることを期待します。

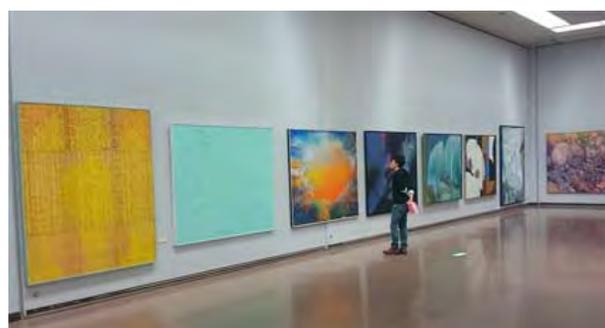


▲ 大阪市立美術館メインホール風景

■ 例年通り、子供達のための「第65回こども二科」の入選作品を併設展示。親子孫三世代にわたり親しむことのできる展覧会として、関西の多くの人々に定着して参りました。また、来年の二科展入選を狙うチャレンジャーのための、ワンポイントアドバイスや、文化の日のロビーコンサートなども開催。入館者の方々に「芸術の秋」を体感していただきました。

■ 期間中、好天にも恵まれ、順調に開催できたことは、とても喜ばしいことでした。結果的には、昨年の100回記念展とあまり変わらない入場者（16055人）を得ることができました。
 （絵画部会員 高畑 彰）

▼ 絵画部展示会場 ▼



出品希望者のための
▼ ワンポイントアドバイス風景



会期中に開催された
ミニ・コンサート風景 ▶



▲ 巡回展と同時開催された
こども二科展示会場



▲ 懇親会風景
7名の絵画部受賞者と推挙者

■ 彫刻部は、展示点数15点（大阪関係6点／会員2 会友3一般1、全国巡回作品9点）でした。作品のスペースをゆったり確保した展示ができました。

昨年の100回展と同じく、新しい出品者が増えない状態は変わらずです。新しい出品者といっても、彫刻の性質上一朝一夕にできるものではありませんので、現在のメンバーが奮起し制作する事が、今のところ、課せられた大切な事です。

中でも、会友の奮起が望まれます。

故淀井敏夫先生の言葉が思い出されます。

「会友の時代が、一番自由に制作できる時期」と・・・。

実験・発見・展開・・・大阪展の三名の会友、岡嶋・本多・吉田 各氏には、大いに頑張ってもらいたいものです。会友の作品の充実が、会員の、さらには一般出品者の刺激にも繋がります。

「こども二科展」の併催で、親子連れの鑑賞者も多い大阪展ですが、彫刻を興味深い表情で鑑賞される姿は、微笑ましく美術鑑賞の理想かもしれないと思います。その意味でも、我々はプロとしてお客様を楽しませるべく、心して制作しなければならないと思うのです。

（文責：彫刻部会員 橋本 和明）

▼ 彫刻部展示会場 ▼



■ デザイン部の展示は例年通り、●A部門＝自由テーマ・ポスター（B1）●B部門＝自由テーマ・イラスト（B2）●C部門＝特別テーマポスター／文化庁による『日本遺産（Japan Heritage）』（B1）●D部門＝マルチグラフィック（B2）の4部門で構成されています。C部門は行政とタイアップして、その年々の施策に沿ったテーマで募集しています。

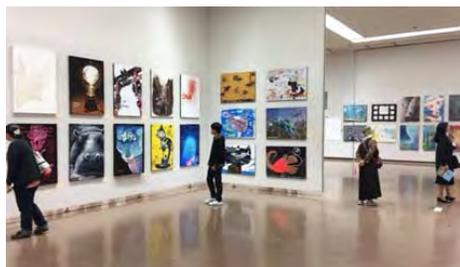
展示数は全国巡回作品156点（一般85点、会友25点、会員46点）と、関西地区出品作品60点（一般34点、会友12点、会員14点）の計216点を展示しました。また、第14回を迎える全国ポストカードデザイン大賞では、今回より小学生部門を新設し、デザイン部会場の1コーナーを借りて展示しました。小学生、中・高、一般の3部門合わせておよそ2,200点の応募があり、約300点が入選しました。デザイン部の作品が多数展示される中、ポストカードという小さな作品ですが、これがなかなかの力作揃いで観客の眼を楽しませていました。一見、二科展とは結びつかないように思えますが、デザイン部ではこのポストカード展を通じて、「まずは二科展の会場に足を運んでいただき、その雰囲気を実感し、デザインや絵を描く喜び、楽しさを感じていただく。ひいては二科展に興味をもっていただくことができれば…」との思いを込めて併催しています。二科大阪展の最終日には、ポストカードデザイン大賞の表彰式を3部門に分けて行いました。式典では受賞作品を拡大映写してムードの盛り上げをはかりました。当日は、父兄や関係者に伴われ多数の出席をいただき、入選者、受賞者1人ひとりに入選状、賞状を手渡しました。表彰式終了後は、展示会場にてデザイン部会員5名によるワンポイントアドバイスを行いました。今年も多く参加者を得て、熱心にメモを取ったり、質問をしたりで会場は熱気に溢れ好評を博しました。

（二科会デザイン部 関西地区事務局／田野 勝）

▼ デザイン部展示会場 ▼



▼ デザイン部会場風景



全国ポストカードデザイン大賞
展示風景 ▶



■ 写真部は総計228点の作品を展示しました。

関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山、京都、滋賀の会員作品が31点、会友41点、全国から選出した会員・会友作が39点、大阪、兵庫、奈良、和歌山の一般入選作45点、全国作品から選ばれた入賞作品29点。また別に3枚を一組にした組写真の入選作が一府三県で23点、全国作品から選ばれた入賞作20点で構成しました。

尚、種別が多くあり、ご観覧の皆様には出来るだけ解りやすく観やすい様、展示しています。また、会期中の第1水曜日と第2水曜日の午後1時より約1時間程度、会場内でギャラリートークを行っています。来場者の方達には大変好評で、今後も継続していきます。

(写真部事務局 山本 博之)

▼ 写真部展示会場 ▼

